

後日^{○中}略 給王卿饌如昨、王卿移候南殿、此間撤張筵、近衛次將等以酒熟瓜^{ホツテ}給王卿、

〔江家次第第二〕新任大臣大饗

七八獻主人勸盃^{○中} 王卿著穩座^{敷菅圓座於第}羞肴物^{暑月削冰瓜等云}

〔侍中群要〕甘苾氷魚給侍從所使

凡賜甘瓜氷魚侍從所、以侍臣堪大飲者爲使、還來奏見參^{口奏也}

〔後水尾院當時年中行事七月〕七日、夕方御祝に初獻^{そる}御汁を供す、土器に少し御汁をかけられ

て後少しづ、三口めす^{○中} 次に御盃參る、二獻^{御まな}三獻^{いり}を供す、女中御前のをしきに、半

そろく^ななる、索へい入てたぶ、三獻の唐瓜も御はんに入てもて出て、一櫛づ、たぶ、

〔張州府志^中九島郡〕產物^{○中} 嫩甜瓜^{カリモ} 出今村、不用熟瓜、採其嫩瓜糟醃、風味殊美也、四方貴物之、

〔倭訓栞^中編四〕かりもり 瓜の末なりをいふ尾張に今もさいへり^{○中} 伊勢にてはかりもき

といへり、

〔延喜式^{三十七}典藥〕遣諸蕃使

渤海使十七種^{○中} 藥草八十種^{○中} 瓜蒂四升、

諸國進年料雜藥

伊豆國十八種^{○中} 瓜蒂五兩、相模國卅二種^{○中} 瓜蒂二兩、下總國卅六種^{○中} 瓜蒂三兩、

〔續江戸砂子〕江府名產^{并近在近國}

暑に傷られて膿血惡痢を病て痛むに、水を以甜瓜をひたし數枚食はしめて愈し事、奇效良方に

見えたり、

〔延喜式^{三十九}內膳〕供奉雜菜

日別一斗^{○中} 生瓜卅顆^{准三升、自五月迄八月所進}